

2013. 4

vol. 102

改訂版 vol. 32

# 女性委員会だより

らくだ



公益社団法人 岐阜県建築士会

〒500-8384 岐阜市藪田南 5 丁目 14 番 12 号

岐阜県シンクタンク庁舎 4 階

〈電話〉(058) 215-9361 〈FAX〉(058) 215-9367



## はじめに

### ■ 新年度の挨拶

女性委員長 宇佐美泉

昨年度に引き続き女性委員長を務めさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

岐阜県建築士会は4月1日より、社団法人から公益社団法人へ移行しました。それに伴い公益性の高い各種活動を行い、地域社会に貢献する活動を推進する必要がありますといわれています。

当委員会も例外ではなく、今までの活動を見直し、更にどのような活動をしていけばいいのかを模索しながら、今年も出来ることからこつこつと・・・ではないですが、地道にやっていければと思っています。

私たちは建築に携わっている者の集まりですが、置かれている立場は皆さん様々ですし、日々変わっていきます。それぞれの状況の中で、中々活動に参加できないかもしれませんが、講習会(勉強会)・研修会(見学会)・懇親会等、興味のあることから参加して下さい。

又、皆さんがより参加しやすいような、アイデアや企画もどんどん出して下さい。皆さんと有意義な活動をしていきたいと思っています。今年度も、よろしくお願いいたします。



## 今回の記事

◇はじめに

◇今回の記事

◇今後の予定・お知らせ

◇第55回建築士全国大会 いばらき大会  
平成24年10月19日(金)

◇見学研修会  
「椅子の彫刻家」フィン・ユールを訪ねて  
平成24年11月18日(日)

◇研修会「LEDについて」  
平成24年12月3日(月)

◇第1回 住育の出前講座(住育教室)  
平成24年12月6日(木)

◇研修会「インテリアについて」  
平成25年2月7日(木)

◇建築士会東海北陸ブロック会 女性建築士協議会  
平成24年度後期定例会議 犬山会議  
平成25年2月16日(土)、17日(日)

◇第12回 気楽にらくだ会  
平成25年4月11日(木)

◇編集後記



## 今後の予定 ・ お知らせ

◆ バリアフリー研修会

平成25年5月25日(土)

◆ 東海北陸ブロック女性建築士連絡協議会前期

平成25年6月8日(土)





# 第55回建築士全国大会

## いばらき大会

### 1日目

日時:平成24年10月19日(金)

記念講演、大会式典

会場:茨城県立県民文化センター

### 2日目

日時:平成24年10月20日(土)

地域交流見学会(エキスカーション)

Aコース:県都・水戸の”歴史・文化”その”現在進行形”に触れる小さな旅行コース

参加者:3名



(岐阜支部から参加の女性委員と集合写真)



(会場入り口にて水戸黄門さんと記念撮影)



## 大会1日目



## ●全国大会 記念講演

妹島和世 記念講演会 in 県民文化センター

報告者:高野 栄子

秋晴れで行楽日和の10月19日、20日と建築士会全国大会に参加してきました。

1日目はメイン会場について、まず妹島和世さんの記念講演を聴きました。

妹島さんは、いまから15年ほど前に岐阜の北方住宅のプロジェクトに参加されていたのでなじみがありました。実際にお話をお聞きするのははじめてでした。妹島さんは茨城出身で高校時代は水戸へ通っていたそうです。地元での凱旋公演でした。

いくつか自身の作品についてお話されました。特にJR日立駅は地元ということもあって、力が入っているように感じました。海に近いことを強調して水平に繋がる自由通路を設計されています。通路なので空調は行わず自然換気を取り入れ、海が見えるカフェなども併設させて日立市の玄関の顔となっているそうです。

他には、伊藤豊雄氏らと共に、東日本大震災復興のため震災の被災地にある仮設住宅に集会所をつくるプロジェクトをされています。昨年岐阜で伊藤さんの講演を聴いたときにも話にでていました。「みんなの家」というそうです。すでに4箇所ほど竣工しているそうです。震災復興について、自分達には何ができるといことを訴えてみました。

他にも国内や海外でも多数のプロジェクトを実施中だそうです。私では思いもつかないような発想で進められるプロジェクトに、ただ感心するばかりでした。

会場は450人ほど入るホールでしたが、満席で立ち見や通路に座る人等大盛況でした。

妹島さんの人気の高さがうかがえました。

はじめて全国大会に参加して、同じ仕事にたずさわる人が一同に会して行うイベントに圧倒されました。とてもいい経験ができました。



(講演の様子)

## ● 大会式典に参加して

報告者: 宇佐美 泉

妹島和代氏の講演会后、会場を移動して大会式典に参加しました。15:00 式典に先立ち、「震災から今日まで」のビデオが流れ、その中で震災により消滅した「五浦(いづら)六角堂」の再建までの様子はとても印象深いものでした。

次にオープニングアトラクションは、県立大洗高校のマーチングバンドの演奏でした。平日 4 時間・休日 8 時間の練習量が物語るように、完璧な演奏と動きは私たちを魅了しました。観ていてとても気持ちがいいマーチングバンドでした。



(動画でお目にはかけられないのが残念です)

15:30 から大会式典が始まりました。茨城県建築士会会長の柴和伸氏よりあいさつがあり、会場の茨城県立県民文化センターも震災の被害に遭い、一時は開会も危ぶまれたそうですが、関係各位の尽力により復旧され、今日を迎えることができましたと話されました。今日まで大変ご苦労をされたことがよくわかりました。

続いて、表彰式があり、連合会会長表彰や永年勤務職員表彰等がありました。



最後に、来年度開催地の島根県建築士会の皆さんが挨拶とアピールをされ、17:00 に無事大会が終了しました。来年は島根県です、縁結びの神様でもある出雲大社へ皆さんで行きましょう！



## ■ 大会2日目

### ● 地域交流見学会(エクスカーション)報告

報告者: 長瀬 八州余

大会二日目10月20日(土)

朝から良いお天気です。ホテル前が集合場所になっていたため移動が楽でした。

各県からの参加者が30名で、茨城県建築士会の方が2名、計32名で出発です。

東日本大震災では水戸市内も液状化現象で大変であったということでした。

車中より弘道館(水戸藩の藩校として第9代藩主 徳川 斉昭公により天保 12 年(1841 年)8月に創設されました。藩士に文武両道の修練をつませようと武芸一般はもとより、医学・薬学・天文学・蘭学など幅広い学問をとり入れた、いわば総合大学というべきものでありました。)を見ましたが、被災しており、復旧途中だと言う説明でした。



(車窓から弘道館を見る)

三の丸庁舎(旧茨城県庁舎)や水戸市水道低区配水塔などを車中より眺めて、徳川ミュージアム(徳川博物館)へ向かいます。



(水戸市水道低区配水塔 きれいな建物でした。)

徳川ミュージアム(徳川博物館)は、水戸徳川家に伝わった貴重な宝物類が見られる唯一の博物館で、歴代藩主・夫人たちの遺愛品や、『大日本史』編纂のために集められた資料も展示されていました。本物の水戸光圀公の印籠とドラマで使用された印籠が展示してありました。旧館と新館から建物は構成されていました。今回の見学会のサプライズで茶室の見学ができました。「得月亭」という茶室で平成21年に移築された建物できれいでした。



(徳川ミュージアムにて)



(茶室)

すぐ近くに借楽園があり、そちらに向かいます。

借楽園は金沢の兼六園・岡山の後楽園とともに日本三名園のひとつに数えられ、江戸時代天保13年(1842)7月水戸藩第9代藩主徳川斉昭公により造られた、世界で2番目に広い公園です。園内をボランティアガイドさんの説明を受けながら散策します。「好文亭」という建物がありその3階から眺める風景は見晴らしいものでした。



(好文亭3階からの眺め)

「借楽園 被災から復旧・復興へ」というパンフレットがあり、それを見ると震災の被害は甚大であったようです。短い期間に復旧作業を行い、開園できていることはすごいことだと思いました。

昼食は「とう粹庵」という所でいただきました。美味しかったです。



(お食事です。)

次の行き先の水戸芸術館は、磯崎新設計の市制100周年を記念し開館した文化施設で、音楽、演劇、美術の芸術活動が、それぞれの専用空間で繰り広げられる建物です。芝生広場では結婚式が行われていました。また、100メートルのタワーがありそれに登って水戸市内を眺望しました。



(水戸芸術館にて集合写真)



(水戸芸術館のタワー)

14時に水戸駅に着いて解散です。  
茨城建築士会の方にはいろいろとありがとうございました。

## ● 東京駅の見学

報告者: 宇佐美 泉

エキスカージョンが予定より早く終了したので、一本前の電車で東京駅まで帰ってきました。それは私たちが、今回の全国大会を兼ねて、どうしても見ておきたかった東京駅を見学するためでした。

東京駅は、皆さんご存知のように辰野金吾氏の設計により、1914年(大正3年)に開業しましたが、空襲でドーム屋根と三階部分を焼失したので、二階建て(二階部分まで)とドーム部分は八角形の屋根に補修され利用されていました。

それを、2007年5月より5年間をかけて昔の形を忠実に復元し、三階部分とドーム屋根が復元され、このたびオープンしたのでした。

初めに、ドーム内部を歩いて天井を見ると、方角を示す干支のレリーフを見ることが出来ました。大勢の見学者でごった返して、注目の高さが伺われました。

その後、皇居に通じる正面の道路へ出て、道路の向かいから東京駅をみてみました。近代的な超高層ビルに囲まれているにも関わらず、レンガ積みの東京駅は周囲に溶け込んで以外に違和感はなく、とてもいい雰囲気でした。

東京駅周辺は、内外ともにすごい人・人・人・・・で、新しい観光スポットになったんだなあ実感しました。とても満足をして東京駅を後にしました。



(ドーム内部)



(東京駅外観)





## 見学研修会

### 「椅子の彫刻家」フィン・ユール

#### を訪ねて

日時：平成24年11月18日(日)

会場：(株)キタニジャパン 北欧家具の美術館 フィン・ユール自邸

参加者：女性委員10名＋士会会員8名＋子供2名  
岐阜支部と共催

- 8:00 県庁ロータリー前
- 8:30 じゅうろくプラザ前乗降車
- 9:00 岐阜各務原 IC  
ひるがのサービスエリア 休憩
- 11:00 高山市
- 11:30 ホテルアソシア高山 (昼食)  
(高山支部の方は、ここに集合して下さい)
- 13:00 (株)キタニジャパン
- 13:20 フィン・ユール邸見学
- 15:00 ショールーム新商品見学
- 16:00 終了
- 18:00 じゅうろくプラザ前
- 18:30 県庁ロータリー前



(集合写真)

女性委員長 宇佐美 泉

はじめて岐阜支部さんと共同で開催しましたところ、脇本副会長をはじめ岐阜支部・各務原支部の方にもご参加をいただき、無事に楽しく一日を過ごすことが出来ました。

ご参加くださいました皆様、本当に御苦労さまでした。

とても有意義な見学研修会になったのではと思っております。

これからも、自己研さんや各支部との親睦を図る場として、又地域に貢献出来るような企画をしていければと思っております。

尚、関係各位の皆様にはお手数をおかけ致しましたが、至らぬ点がございましたこと、お許しいただければ幸いです。



(昼食のホテルアソシア高山にて建築士会副会長脇本氏のあいさつ)

#### フィン・ユール

(Finn Juhl, 1912年1月30日 - 1989年5月17日) はデンマークの建築家、家具デザイナー。アルネ・ヤコブセン、ハンス・J・ウェグナーと共にデンマークの近代家具デザインにおける代表的な人物である。

#### ■ 研修会感想

報告者：山田 妙子

11月18日(日)久しぶりに委員会に参加させて頂きました。

フィン・ユール自邸再現建築を見て思ったことは、シンプルで楽しい空間でした。

机・椅子・棚 家具はいとおしいばかりのカーブを描き、フィン・ユール自邸その部屋はまるでデンマークにいるかのような気分にさせてくれました。

キタニジャパンでは、北欧の家具に直に振れ重厚な趣と、座り心地よさに大満足。

この建物が、北欧のデザイン、アート生活文化を体感する家として活動されるそうです。

非日常の世界に一時楽しませて頂きました。

この研修に参加させて頂きありがとうございました。



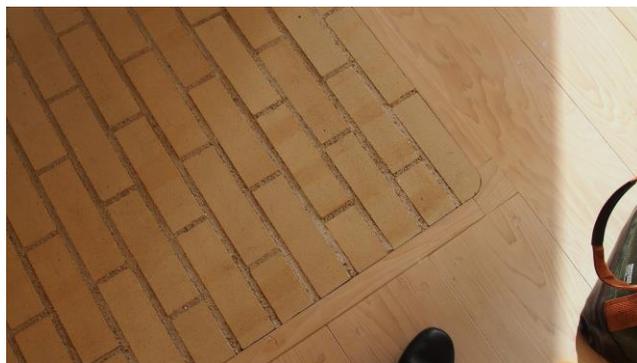
(ホテルアソシア高山での昼食風景)



(居間の本棚)



(株キタニジャパンのショールームにて説明を受ける)



(暖炉前の床タイル)



(見学開始)



(玄関側のファサード)



(寝室へ向かう廊下)



## 研修会「LEDについて」

日時:平成24年12月3日(月)

13:30~16:30

会場:ふれあい福寿会館 405号室

参加者:女性委員8名+一般・士会会員7名

(女性委員会と岐阜支部合同にて開催)

### 講師紹介

DAIKO 大光電機(株)経営戦略室 広報部長

NPO 法人 LED 照明推進協議会 広報委員

京都造形芸術大学芸術部空間演出デザインコース非常勤講師

中尾 晋也氏



測がありメーカーは価格下落競争の様相。ただ、不良品が出回り器具の故障も起きている。よって電気用品安全法規制対象となり24年7月1日以降はPSE表示により確認ができる。ただし、蛍光灯形は対象外なので注意が必要将来はJIS化の見通し。

・LEDの特徴 Light Emitting Diode  
メリット ・長寿命 ・光に紫外・赤外線含まない

・寒さに強い ・瞬時点灯に優れている

・衝撃に強い

かつてのデメリット ・演色性に乏しい ・高価

(今は改良されている) ・1つの素子のパワーが弱い

・色のばらつきがある

・これからの照明について

・何でもLEDというよりライフスタイルによって照明の種類を選ぶ事が必要。古来より日本人は薄明りを愛でた民族であったのに今は明るすぎる(特に蛍光灯の色)それでも震災以降明るさを抑える風潮も出てきている。

・今までは器具よりランプの寿命がずっと短かったので、ランプを随時取り替えていたが、LEDは長寿命なので器具と一体と考えるようにすることが必要(冷蔵庫やエアコンのように壊れたらそっくり取り替える)

以上の講演を聞いて特に最後の2点については大い共感しました。又余談でしたが、蛍光灯には眠りを抑制するメラトニンが含まれているので、脳が休めない。よって日本人に認知症が多いのではというちょっと笑えないお話もありました。照明に関するいろいろな話が聞けて有意義なひと時でした。

### ■ LEDについての研修会に参加して

報告者:飯沼 あい子

「LED照明はこれからどう動くのか」

—LED照明の動向から使用上の留意点まで—  
の演題で中尾晋也氏(大光電機(株)経営戦略室広報部長)の話を聞きました。

・歴史 1960年代パイロットランプからスタートしバックライトを経て一般照明へ(当初はイルミネーション・サインボード等)

・市場 日本からスタートした大手5社だが現在では新興のアジアとの競争

・動向 日本では白熱電球の製造中止によりLEDが増産ラッシュだが、2020年までには成長率が止まるとの予



## 第1回 住育の出前講座

### (住育教室)

日時:平成24年12月6日(木) 午後

会場:関ヶ原町立関ヶ原小学校

参加者:6年生(63名)

テーマ:「明かりのエコについて」

6年1組 32名

6年2組 31名

45分授業を2回

女性委員3名参加

パナソニック4名参加

報告者:高野 栄子

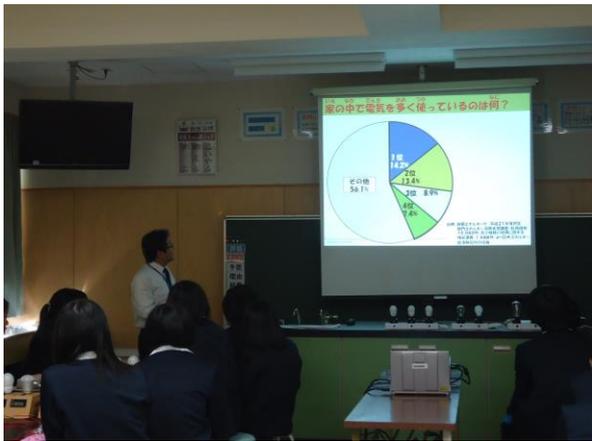
12月6日 午後 関ヶ原町立関ヶ原小学校にて6年生の児童の皆さんに、住育教室の出前授業を行いました。昨年度から始まった 小学校への出前授業です。

今年は、パナソニック(株)様のご協力の下、LEDの「あかりのエコ」について行いました。

委員長の宇佐美さんのあいさつの後、白熱灯、蛍光灯、LEDについてお話を聞き、手回し発電機などの実験を行いました。照明器具の成り立ちや、あかりについてわかりやすく教えていただきました。

児童の皆さんは、静かに話を聞き、積極的に実験に参加してみえました。

LDEについてや、省エネについて考えるいい機会になったと思います。



(授業風景)



## 研修会「インテリアについて」

日 時:平成25年2月7日(木)

14:00~16:00

会 場:サンゲツ名古屋ショールーム

(名古屋市西区幅下1-4-1

電話052-564-3225)

参加者:女性委員9名+一般・士会会員1名

### ■ 研修会に参加して

報告者:下川 綾子

サンゲツ名古屋ショールームにて、壁紙の講習会に参加しました。

最新の「リザーブ 1000」と「XSELECT」のカタログを見ながら、各商品のセールスポイントと人気商品などを教えていただきました。

商品開発の裏話やサンゲツに届いたお客様の声など、商品企画担当の方ならではの情報もあり、興味深くお話を聞かせていただきました。

壁紙の最近のトレンドは、柄物のポイント使いと光モノだそうです。

スワロフスキーがついていたり、ラメ入りの壁紙があったりと、初めて見る商品ばかりで驚きでした。

機能面でも、消臭・汚れ防止・耐久性、さらには抗ウイルス壁紙まで豊富なラインナップがありました。

壁紙を選ぶ際は、デザインだけに限らず機能面でも施主の要望や建物用途に合わせて提案をしていきたいと思いました。

カタログの説明後、実際にショールームを見学しましたが、モデルルームがたくさんありとても楽しめました。

カタログに掲載されていた商品が、サンプルで見たイメージと実際に壁一面に施工した感じでは雰囲気異なることもよく分かりました。

また、仕事で参考にしたい時にはショールームを訪れたいと思います。

大変勉強になる講習会に参加させていただきありがとうございました。



(担当者と講師の先生。講習会の前に委員長挨拶)



(ショールームにて全体の説明を受けます。)



(個々の展示の説明を受けます。)



(テーマに沿って部屋のインテリアが計画されています。)



## 東海北陸ブロック会

### 女性建築士性協議会

### 後期ブロック犬山大会

【日 時】平成25年2月16日(土) 12:30~20:30  
平成25年2月17日(日) 10:00~13:00

【会 場】1日目 名鉄犬山ホテル  
2日目 博物館 明治村

【テーマ】「時代に愛された建築を知る！犬山大会」

#### —1日目—

【受 付】12:00~12:30

【開会式】12:30~13:10 青年建築士協議会と合同

【女性建築士協議会】13:10~14:40

建築士会 東海北陸ブロック会 女性建築士協議会

平成24年度定例会議(後期犬山会議)

【分科会】15:00~17:00(第2分科会のみ17:45)

第1分科会 テーマ:「見る」城下町見学

第2分科会 テーマ:「学ぶ」有楽苑見学

第3分科会 テーマ:「体験する」犬山焼き絵付

け体験

【懇親会】18:30~20:30

#### —2日目—

【見学会】10:00~12:30(午後より有志で見学会)

博物館 明治村

【閉会式】12:30~13:00

明治村内聖ザビエル天主堂



(集合写真)

# ■東海北陸ブロック会 女性建築士 協議会

## 平成24年度定例会議 (後期犬山会議)に参加して

報告者:宇佐美 泉

開会式終了後、場所を移動して女性建築士協議会が開催されました。(公社)愛知建築士会の佐藤東亜男会長から挨拶をいただきました。次に出席者の自己紹介があり、和やかな雰囲気での始まりました。

又、我が建築士会の藤井会長と協本委員会担当副会長も傍聴していただきました。

### 1. 報告事項

今年度の活動報告(パワーポイントを使って)  
連合会女性委員会の報告  
青年協議会定例会議出席の報告

### 2. 審議事項

平成24年度定例会議(前期福井会議)議事録承認の件

平成25年度女性協議会役員(案)承認の件

平成25年度事業計画(案)並びに予算(案)承認の件  
上記の報告事項と審議事項は承認されました。又、協議事項として色々と決定しましたので、報告いたします。

### 3. 平成25年度ブロック石川大会(後期)について

開催場所 石川県加賀市(詳細は、未定)

開催日時 平成26年2月22日(土)23日(日)(決定しました)

### 4. 平成25年度分科会について

分科会担当(発表)県の福井県より、発表内容の概略説明がありました。

「昔ながらの材料を使ったワークショップ」ということです

### 5. 次年度(平成25年度)の各持ち回りの確認

前述しました通り、石川県で後期会議が開催されますが、その時は福井県が分科会担当(発表)をされます。

それで、平成28年度分科会担当の「岐阜県」は、平成29年度後期会議が当県で開催されることから、平成29年度に変更したいと要望しました。これについては、4年

後のことであることから次期運営委員長に申し送りとなりました。

しかし、懇親会後の委員長会で、ブロック開催県と分科会担当県は、同一のほうが準備面からも負担面からもやりやすいのではとの意見があり、平成26年度より、ブロック(後期)開催県=分科会担当県ということで実施されることになりました。後日、運営委員長より正式に発表があり次第、お知らせします。

### 6. 次回開催地案内

平成25年度前期会議は、富山県で行われます。前期会議は、運営委員(各県2名、必要であればオブザーバー参加可)のみで、会議のみになります。

以上で、会議が終わりましたが、いつものように時間が足りなくて、河内相談役所見も慌ただしく終わりました。



(受付風景)



(会場内にて県内素材の展示を各県おこないました。岐阜県は和紙、美濃瓦等の展示をおこないました。展示した瓦は本願寺で使われている本物です。)



(各県の活動報告の様子。パワーポイントを使って説明をおこないます。映像なのでよくわかります。)

## ■第2分科会 「学ぶ」歴史から 学ぶ—文化の継承

報告者: 下川 滝美

私は愛知県女性委員会の企画した第二分科会に参加しました。

この分科会は二部制となっており最初に1時間程かけて有楽苑の見学を行いその後名古屋大学大学院環境研究科准教授西澤泰彦氏による「歴史的建造物の保存活用から学ぶこと」という演題の講演会で構成されていました。

有楽苑は国宝茶室如庵、重要文化財級正伝書院など茶室をいくつか有する庭園です。

如庵では前室でガイドボランティアの方から織田有楽斎の人柄や如庵の魅力などをお聞きました。

如庵はとても小さな空間ですがとても細やかな細工が施されており贅沢な空間となっていました。全て寸法が違う窓、その窓が外の庭と生み出す色や影など計算された設えに感動致しました。また弘庵では有楽風と言われる風をあらわす渦巻風の和菓子とお抹茶を美味しく頂きました。

西澤氏の講演会は7つの歴史的建造物を読み解くことからはじまりました。

建物はその建てた時代の人々の工夫や努力などを先生のような研究家がいるこそ歴史が解き明かされ私たちに伝えているのだということを知りました。

「建築が時代を語るには聞き手が要る」と氏の恩師である村松貞次郎氏の言葉が印象的でした。

また濃尾地震という災害の影響も専門家による冷静な調査分析のおかげで今の技術につながっているということもわかりました。

有楽苑で歴史的建造物を見て、また次の日は明治村という歴史的建造物群の見学という流れの中で文化の継承ということを学ぶことができました。

これからも多くの建物をみて建物が語る歴史を聞き取りたいと思いました。



(有楽苑入り口)



(如庵)



(路地の様子)



(第二分科会 講演会の様子)

## ■第3分科会

### テーマ:「体験する」犬山焼き絵 付け体験

報告者:長瀬 八州余

第三分科会はバスにて犬山福祉会館に向かいます。会場にて用意されていた、ビニールのエプロンをかぶり、茶碗、湯飲み、小皿の3つよりどれか一つを選んでそれに絵付けをします。

講師の先生は尾関作十郎先生です。

赤、緑、青、黒、黄色の5色が用意されており、何でも自由に書いて下さいということでした。参加者それぞれに絵付けをしました。

後日郵送されるという説明を受けましたが、3日後に送られてきました。本当に早かったです。

絵付けができた人は各々歩いてホテルまで戻るということで、帰りは犬山の街を散策して戻りました。メインの通りは電柱が地中埋設になっており、すっきりとした町並みになっています。



(絵付けの様子)



(電柱、電線のないすっきりとした通り。)



(お茶碗に絵付けをしました。)



(ビニールのエプロン。)



(一本通りが違うと、電柱、電線があります。)

# ■東海北陸ブロック大会

## 懇親会へ参加して

報告者:津川 文江

懇親会は、名鉄犬山ホテルの2階にて18:30より開催されました。青年委員会と女性委員会総勢200名近くの人が参加しました。

余興として有楽苑や如庵 明治村等についてのクイズが20問ありました。

私のグループは、全問正解！沈黙のグループの私達は、これを機にその場がなごみ会話も弾みいい雰囲気となりました。

次の企画は、鯛の刺身の姿作りを頂くか、苦いお茶を飲むというものでした。

私達は、苦いお茶が当たってしまいました。これもまた、その場を和ませる好い手段でした。

いつもバイキング形式の食事、あっという間に食べるものが無くなる事が多かったのですが 今回のホテルの食事は、運ばれて来るので席を立つことなく、ゆっくり隣同士会話ができてよかったです。

食事は、たいへん美味しく頂戴いたしました。特に、苺ムースのデザートが美味しかったです。



(デザート苺のムース)



(ゲームでの一等の刺身舟盛りと二等のスイーツのケーキ)



(会場の様子)



(愛知県の女性委員の皆さん。お世話になりました。)



(二次会の様子)

開催県の愛知県さんのご配慮により、女性委員は二次会として9時半より和室にて交流会をおこないました。麩まんじゅうを用意して下さい、美味しくいただきました。

会議の時に説明ができなかった各県の素材の説明もおこないました。

## ■ 明治村見学を終えて



報告者:河内 美代子

予め決められた番号で何班かに分かれて、明治村の見学をした。天気は良いものの村内に雪が残る寒い日で、一人1個ずつ貼らないカイロの支給があった。

私の班は、先に北側のいくつかの建物を見てから、帝国ホテルの修理保全担当の方(女性!!)から説明を聞いた。普段は入ることが出来ない屋上などへも回り、その修理保全がいかに大変か、苦勞しておられることが説明を受けてそして目で見てよく理解が出来た。

ライトの建築は有機的と言われるが、日本人の感性に良くあった建築だからこそ、余計に評価理解されるのだろうと思う。もちろんライトの家があったシカゴでもボランティアガイドによるツアーがあるほど評価されていますが。

彼の設計意図の説明、そして時代を経て、なお美しさを

保ちつつも劣化に対する手当の困難さに我々までもがため息が出てしまいそうだった。

ガラスに組み込まれた金箔の美しさと夕日が差し込む時間帯には反射してきっと素晴らしいだろうと想像し、ライトが目論んだ計算づくのすべての美しさに見とれた。また、是非、夕日の時間帯にも出かけてみたいと思った。

全体会時の犬山市長さんの挨拶に、雨漏りのしない屋根の設計をしてほしいと言う話があったが、藻の生えたコンクリートを洗うことも出来ないなど(かえって菌が拡散する恐れがあるため)保全担当の方々が色々苦勞しておられるのだが、寿命・経年劣化対策と建設費・維持管理費用の天秤は住宅に比べて、とりわけ商業目的の建物の場合には厳しく、どうしたら名建築を残せるかは難しい課題だと思った。



(同じ班の岐阜県メンバーと記念撮影)



(屋上でクラックの補修箇所などの説明)



(ガラスに組み込まれた金箔)

報告者:井之口 洋子

午後からの見学ということで西園寺公望別邸 坐漁荘を工事中ということでしたが見学させて頂きました。

歴史的建造物を修復中に見ることができる機会は滅多にありませんので、床下から壁内まで見る事が出来、興味深いものでした。

特に、驚いたのは建てた当時から鉄の板で筋交いを作っており、真壁の中に納まっていたことと、小屋組を工夫して風対策をしてあったことでした。

西園寺公望が建築に対して造詣が深かったんだろうと思います。現在は屋根の腐食に対して苦勞していると担当者からの話も考えさせられました。

歴史を残しながら、現代に合わせていくのは環境の問題や法律の問題など色々課題があるようでしたが、建物に携わっている方が真摯に向き合っていて工夫されている姿に感動しました。



(ヘルメットと軍手を渡されて現場に向かいます。)



(床組の様子。)



(現場内部)



(西園寺公望別邸 坐漁荘内部での見学の様子。)



(閉会式会場の聖ザビエル天主堂のスタンドグラスに照らされて。)



(閉会式の様子)



(事前に注文していたお弁当。  
寒い日でしたので、温かいお吸い物がありがたかったです。)



## 第12回 気楽にらくだ会

日 時:平成25年4月11日(木)  
 会 場:長良川うかいミュージアム  
 (岐阜市長良51番地2 電話058-210-1555)  
 参加者:9名

9:50 集合  
 10:00~11:20 見学  
 11:30~13:00 会食(館内 カフェ ナガラベジーズ)

今年度は「気楽にらくだ会」の後、平成24年度の女性委員会総会をおこないました。

長良川うかいミュージアムの見学では、展示設計を担当された早川氏が案内をして下さいました。ありがとうございました。

**長良川うかいミュージアム(岐阜市長良川鶺鴒伝承館)**  
 長良川うかいミュージアムは1300年以上の長きにわたり受け継がれてきた、岐阜市を代表する伝統文化である「長良川の鶺鴒」の歴史や技術、醍醐味など奥深い世界を「護(まも)り」「伝え」「広める」施設として、平成24年8月1日にオープンしました。

### ■「気楽にらくだ会」に参加して

報告者:堀 暁美

4月11日長良川うかいミュージアム見学会に参加しました。

長良川が一望できる素晴らしいロケーションでうかいの歴史や実演を体感できます。

雨でうかいを見ることの出来なかった方への配慮もあり、皆が楽しめるように工夫されていました。

建物や内部の施設について案内をしていただき、充実した見学ができました。



(景観ラウンジからは長良川が一望でき、岐阜城も見ることができます。)

ここは無料のコーナーなのでいつでも来ることができます。)



(展示室内の様子。4倍サイズの鶺鴒の模型があり、触ることができます。)

その他にもいろいろな参加型の展示がしてあります。)



(外には鶺鴒の生態展示コーナーがあり、生きた鶺鴒が飼われています。)

ほとんど動かなかったの、最初模型かと思いました。)



(交流体験広場にて。後ろにみえるのがミュージアムの2階のレストランです。)



(結構、敷地に高低差があります。)



(会食の様子)



## 編集後記

32号をお届けします。  
平成24年度の後期の報告となっています。

皆様からの投稿はいつでもお待ちしております。  
また、編集参加問い合わせ、ご意見・投稿・新企画などがございましたら、下記へお寄せください。

建築士会の事務所が移転しました。  
住所、電話番号等が新しくなりましたのでお間違えのないようにお願いします。

編集委員(長瀬)

公益社団法人 岐阜県建築士会  
岐阜市藪田南5丁目14番地12号  
岐阜県シンクタンク庁舎4階  
TEL 058-215-9361 FAX 058-215-9367  
<http://www.gifukenchikushikai.or.jp/>  
E メールアドレス [kensi578@juno.ocn.ne.jp](mailto:kensi578@juno.ocn.ne.jp)  
※ 女性委員会担当まで宜しくお願い致します

